

令和5年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	遊んで、学んで、元気になる！薬草ガーデンカフェ&ヘルシービレッジ構想
事業主体 (連絡先)	原村薬草栽培促進会 長野県諏訪郡原村菖蒲沢9893-9
事業区分	(6)産業振興及び雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ア 特色ある観光地づくり イ 農業の振興と農山村づくり オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
総事業費	950,190円 (うち支援金：734,000円)

事業内容

本事業では、原村ブランドの創出、付加価値の高い農産物の産地化、オリジナリティのある観光地づくり、生薬の中国依存からの脱却、これらの課題を解決するために希少価値の高い国産の薬草を新たな地域資源とし、薬草の産地化と健康をテーマにした観光地としての再生を目指す取り組みを実施。

- ・薬草ガーデンと薬草ガーデンカフェの整備
- ・薬草を活用した料理の試食会やキッチンカーによる販売の実施
- ・薬草栽培実践会の開催：全8回開催、延142名参加
- ・薬草栽培の実践：トウキ、センブリ、ハトムギ等

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①原村薬草栽培講座の開催をきっかけに、薬草を学び、栽培に取り組んでみたいと関心を持つ参加者が出るなど、薬草栽培の関心の向上を図れた。また諏訪地域内の他団体とのつながりができ、薬草に対する関心を高める取り組みができた。
- ②薬草栽培実践会を通じて地域外(県外もあり)からの参加者があり、原村に滞在するなど関係人口創出にも寄与できた。また地元参加者と地域外参加者との交流を図ることができた。
- ③栽培した薬用作物から加工可能な部分を使った新メニューの開発を行い、試食会開催やキッチンカーで販売を行うことで薬草を使った商品の広報にも寄与できた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

R4年度事業で整備したホームページから新規の参加者も増えてきて、今後はさらに地元と地域外の参加者の交流を図りながら、薬草栽培への関心や意識向上を図る。また地域内事業者との連携を図る取り組みとして、薬草を取り入れた商品サービスの開発と提供を図る。そして薬草栽培に関しては栽培の確立と栽培方法のマニュアル化を進め、製薬会社へ原料として卸せる品質の栽培に努めるとともに、薬草栽培の拡大に向けた取り組みを行っていきます。また地域の各施設との連携を深めながら、栽培実践会を通して関係人口の創出や地域経済の活性化に資する取り組みを行っていきます。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【薬草ガーデンの様子】

【目標・ねらい】

- ① 薬草栽培に関心を持ち栽培実践者の増加
- ② 関係人口の創出

※自己評価【 B 】

【理由】

- ・薬草栽培実践会へは地域外からの参加者もあり、地元との交流が図れた。一方で、栽培に関しては気候の影響や、人手不足が課題で栽培の確立に向けてさらに努力が必要と考えている。
- ・県外からの参加者も多くあり、原村に滞在するなど関係人口創出にも寄与できた。